

2019 年度 小学校教員資格認定試験 受験案内

1. 試験の概要

I 小学校教員資格認定試験制度の趣旨

文部科学省において、広く一般社会から学校教育へ招致するにふさわしい人材を求めするため、職業生活や自己研修などにより教員として必要な資質、能力を身に付けた方が教員免許状を取得する方策として小学校教員資格認定試験を実施しています。平成 30 年度から試験実施事務を独立行政法人教職員支援機構が行っています。

小学校教員資格認定試験は、受験者の学力等が大学又は短期大学などにおいて小学校教諭の二種免許状を取得した者と同等の水準に達しているかどうかを判定するものです。この認定試験に合格した者は、都道府県教育委員会に申請すると、小学校教諭の二種免許状が授与されます。

II 取得できる普通免許状の種類

小学校教諭二種免許状

III 受験資格

高等学校を卒業した者、その他大学(短期大学及び文部科学大臣の指定する教員養成機関を含む。)に入学する資格を有する者で、平成 11 年 4 月 1 日までに生まれたもの

(注) 「文部科学大臣の指定する教員養成機関(以下、指定機関)に入学する資格を有する者」は、教員免許状を取得できる学科等に入学する資格を有する者のみ該当します。なお、指定機関の学科等の一覧は文部科学省ホームページを御覧ください。

[指定機関の学科等の一覧：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/daigaku/1308277.htm]

IV 実施スケジュール

受験願書等の請求受付期間 **2019年5月31日（金）まで**

- 請求方法について、詳しくは8ページをご覧ください。
- 請求受付期間後の請求は一切できませんので、十分御注意ください。

出願期間 **2019年5月24日（金）から**
2019年6月7日（金）まで（当日消印有効）

- 受験を希望する試験運営大学の担当部署宛に所定の願書提出用封筒にて郵便局の窓口から「書留」で郵送してください。

受験票の交付 **2019年8月中旬頃**

- 8月16日（金）の時点で到着しない場合は、願書を提出した試験運営大学へ連絡してください。

第1次試験実施日 **2019年8月31日（土）、9月1日（日）**

- 実施の日程について、詳しくは4ページをご覧ください。
- 合否通知は、9月24日（火）に発送します。

第2次試験実施日 **2019年10月12日（土）、10月13日（日）**

- 実施の日程について、詳しくは5ページをご覧ください。
- 合否通知は、11月5日（火）に発送します。

指導の実践に関する事項に **2019年11月中旬から下旬までの間において**
係る試験実施日 **試験運営大学が定める日**

- 実施の日程について、詳しくは5ページをご覧ください。

合格者の発表 **2020年1月22日（水）**

- 1月22日に合否通知を発送するとともに、合格者の受験番号を認定試験ホームページに掲載します。

2. 試験の実施方法

I 試験運営大学

宮城教育大学 東京学芸大学 横浜国立大学 静岡大学 岡山大学 熊本大学

〔宮城教育大学は第1次試験のみの実施です。宮城教育大学で受験する場合、第2次試験以降は横浜国立大学での受験となります。また、出願書類は横浜国立大学へ提出してください。〕

II 実施期日、場所、試験の内容・方法

認定試験は、第1次試験、第2次試験、指導の実践に関する事項に係る試験に分けて実施します。

受験に関する詳細については、受験票と共に受験者心得を送付しますので、よく読んで受験してください。

(注) (a) 2019年度試験より、全ての科目において、平成29年(2017年)3月に告示された小学校学習指導要領を出題対象とします。

(b) 認定試験に係る教科書・参考書等の例示・紹介、勉強法についての助言等は行っておりません。過去の問題は認定試験ホームページに掲載しています。

認定試験ホームページ：<https://www.nits.go.jp/menkyo/shiken/>

(1) 第1次試験

ア 期 日 2019年8月31日(土)及び9月1日(日)の2日間

イ 場 所 試験運営大学の定める場所

ウ 試験の内容及び方法

区 分	内 容	方 法
教科及び教職に関する科目 (I)	改正教育職員免許法施行規則第3条第1項表における「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に関する専門的事項	筆記試験 ：マークシート方式 (択一式とする。)
教科及び教職に関する科目 (II)	小学校の各教科の指導法及びこれに付随する基礎的な教科内容 (小学校の10教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち2教科以上を含む6教科をあらかじめ選択して受験)	筆記試験 ：マークシート方式 (択一式とする。)

エ 時 間 割

試験期日		試験時間割	試験科目	試験場	
第1日	8月31日(土)	9:00~10:10	教科及び教職に関する科目 (I)	試験運営大学の定める場所	
		10:50~11:40	教科及び教職に関する科目 (II)		国語
		13:00~13:50			社会
		14:30~15:20			算数
第2日	9月1日(日)	16:00~16:50	教科及び教職に関する科目 (II)		理科
		9:00~9:50			図画工作
		10:30~11:20			体育
		12:40~13:30			音楽
		14:10~15:00			家庭
		15:40~16:30			生活
17:10~18:00	外国語(英語)				

オ 第1次試験の可否結果通知

第1次試験の受験者には、試験運営大学から本人宛てに、試験結果通知書を9月24日(火)に発送します。受験予定の試験科目を欠席した場合には試験結果通知書は送付しません。なお、電話による可否の照会には、一切応じません。

(2) 第2次試験

第2次試験は、第1次試験に合格した者に限り受験することができます。

ア 期 日 **2019年10月12日(土)及び10月13日(日)の2日間**

イ 場 所 試験運営大学(宮城教育大学除く)の定める場所

ウ 試験の内容及び方法

区 分	内 容	方 法
教科及び教職に関する科目(Ⅲ)	小学校の各教科に関する専門的事項及び指導法(小学校の10教科の中から1教科をあらかじめ選択して受験する)	筆記試験(論述式とする。)
教科及び教職に関する科目(Ⅳ)	音楽、図画工作及び体育 (「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち、第1次試験において受験したものの中から2教科をあらかじめ選択して受験)	実技試験
口述試験	小学校教員として必要な能力等の全般に関する事項	口述試験

エ 時間割

試験期日		試験時間割	試験科目	試験場	
第1日	10月12日(土)	9:00~10:00	教科及び教職に関する科目(Ⅲ)	試験運営大学(宮城教育大学除く)の定める場所	
		10:40~12:10	教科及び教職に関する科目(Ⅳ)		図画工作
		13:40~			音楽
第2日	10月13日(日)	10:00~	口述試験		音楽
					体育

オ 第2次試験の可否結果通知

第2次試験の受験者には、試験運営大学から本人宛てに、試験結果通知書を11月5日(火)に発送します。受験予定の試験科目を欠席した場合には試験結果通知書は送付しません。なお、電話による可否の照会には、一切応じません。

(3) 指導の実践に関する事項に係る試験

指導の実践に関する事項に係る試験は、第2次試験に合格した者に限り受験することができます。

ア 期 日 **2019年11月中旬から下旬までの間において試験運営大学が定める平日の連続する2日間**

※期日が決まり次第、認定試験ホームページに順次掲載する予定ですが、変更の可能性があります。正式な日程は、第2次試験の合格通知書と共に送付する受験者心得をご覧ください。

イ 場 所 試験運営大学(宮城教育大学除く)の定める場所

ウ 試験の内容及び方法

内 容	方 法
小学校教員として必要な指導の実践に関する事項	授業観察, 指導案等作成, 討論等

エ 時間割

第2次試験の合否結果通知時に、第2次試験の合格者に受験者心得の発送をもって通知します。

Ⅲ 合格者の発表等

第1次試験、第2次試験、指導の実践に関する事項に係る試験の全てに合格した者を2019年度小学校教員資格認定試験の合格者とし、独立行政法人教職員支援機構から本人宛てに、合格者には合格証書を、不合格者には試験結果通知書を**2020年1月22日(水)**に発送します。また、合格者の受験番号を認定試験ホームページに掲載します。受験予定の試験科目を欠席した場合には合否通知は送付しません。電話による合否の照会には、一切応じません。

なお、認定試験の個人の成績については、受験者本人のみ開示を求めることができます。詳細は第1次試験終了後、認定試験ホームページに掲載します。

Ⅳ 試験科目等の一部免除

次に掲げる試験科目等については、受験願書の「免除申請」欄の記入及び試験科目一部免除事由に該当することの証明書を提出した者について、免除事由及び証明書等を確認の上、その試験科目等の全部又は一部を免除します。

(1) 教科及び教職に関する科目(Ⅳ)

次のいずれかの免除事由に該当する者に対しては、教科及び教職に関する科目(Ⅳ)の全部又は一部を免除します。

免除事由	免除する試験科目	申請に必要な提出書類
ア 幼稚園教諭の普通免許状を有する者	教科及び教職に関する科目(Ⅳ)の全部	教員免許状授与証明書(2019年4月1日以降に都道府県教育委員会で発行されたもの) ※教員免許状の原本又は教員免許状の写しでは不可
イ 音楽の教科についての中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有する者	教科及び教職に関する科目(Ⅳ)音楽	
ウ 美術の教科についての中学校教諭普通免許状又は美術若しくは工芸の教科についての高等学校教諭の普通免許状を有する者	教科及び教職に関する科目(Ⅳ)図画工作	
エ 保健体育の教科についての中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有する者	教科及び教職に関する科目(Ⅳ)体育	

(2) 口述試験

次の免除事由に該当する者に対しては、口述試験を免除します。

免除事由	申請に必要な提出書類
教員免許状を有する者	教員免許状授与証明書(2019年4月1日以降に都道府県教育委員会で発行されたもの) ※教員免許状の原本又は教員免許状の写しでは不可

(3) 指導の実践に関する事項に係る試験

次のいずれかの免除事由に該当する者に対しては、指導の実践に関する事項に係る試験を免除します。

免除事由	申請に必要な提出書類
教員免許状を有する者	教員免許状授与証明書（2019年4月1日以降に都道府県教育委員会で発行されたもの） ※教員免許状の原本又は教員免許状の写しでは不可
常勤の教員として3か月以上の教職経験を有する者 （教員免許状を有することに基づく勤務による教職経験に限る。）	常勤の教員として3か月以上の教職経験を有することを証明する勤務証明書 ※下記の事項を明記したもの 氏名、生年月日、職名、雇用期間、雇用形態（常勤、非常勤の別）、勤務校名、担当教科名、取得していた教員免許状の種類
大学（短期大学及び文部科学大臣の指定する教員養成機関を含む）において教育実習、養護実習又は栄養教育実習を合計2単位以上修得した者	学力に関する証明書 ※大学の規定等により学力に関する証明書が発行できない場合に限り、教育実習、養護実習又は栄養教育実習2単位以上の修得が確認できる単位修得証明書又は成績証明書の提出を認めます。

試験科目等の一部免除に関する留意事項

ア 試験科目等の一部免除を申請する者は、教員免許状の授与証明書、学力に関する証明書、勤務証明書等の免除事由に該当することを証明する書類（写しの指定のあるものを除き、いづれも写しは不可。）を必ず添付してください。（教員免許状の授与証明書の証明日は、必ず2019年4月1日以降であること。）

イ いくつかの免除申請に同一に使える証明書類がある場合は、1通で有効とします。

ウ 上記(1)～(3)の各項目に該当する者であっても、受験願書の「免除申請」欄に記入のない場合及び期日までに「免除事由に該当することの証明書類」を提出しない場合は、免除の取扱いをしません。

エ 免除申請の結果については、受験票において通知します。

3. 出願手続

I 出願期間

2019年5月24日(金)から2019年6月7日(金)まで

(注) 2019年6月7日(金)の消印のあるものまで受理します。

II 受験願書等の請求

請求受付期間：2019年5月31日(金)まで

※請求受付期間後の請求は一切できませんので、十分御注意ください。

(1) インターネットで請求する場合(テレメールの資料請求受付サイト)

次の URL にアクセスし、画面に従って必要事項を入力して申し込んでください。

(PC) <https://telemail.jp/shingaku/pc/gakkou/kyouin/shougakkou.php>

(スマートフォン等) <https://telemail.jp/?btc=1029293&gsn=6100001>

テレメールは、24時間いつでもアクセスできる資料請求受付サービスです。また、テレメールカスタマーセンターは、このサービスのサポートセンターであり、いずれも株式会社フロムページが運営しています。



(QRコード)

(2) 電話で請求する場合

IP 電話 050-8601-0101 へ電話し、音声ガイダンスに従ってプッシュボタンを押して申し込んでください。なお、その際、受験案内の資料請求番号を聞かれますので、**753502**と押してください。

(3) 留意事項

ア 上記(1)又は(2)のいずれの方法でも、お届けする受験願書等は同一です。

イ 請求後概ね3~4日後に届きます(日曜日や祝日をまたぐ場合や、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります)。ただし、2019年5月6日(月)以前に請求された場合のお届けは、2019年5月10日(金)頃となります。

ウ 受験願書等の到着後、同封される支払方法に従って、料金180円をお支払いください。

エ 願書等の請求に関して不明な点は以下へお問い合わせください。

テレメールカスタマーセンター：IP 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

オ 願書請求は上記(1)又は(2)の方法のみであり、試験運営大学及び独立行政法人教職員支援機構では請求を受け付けていませんので、請求受付期間に十分御注意ください。

III 出願方法

12ページに記載の受験を希望する試験運営大学の担当部署宛て、所定の願書提出用封筒にて郵便局の窓口から「書留」で郵送してください。

(注)(a) 書留郵便以外(普通郵便等)の出願は認めません。また、試験運営大学及び独立行政法人教職員支援機構への直接持参による出願は受け付けません。

(b) 願書提出用封筒には、受験を希望する試験運営大学の担当部署名まで正確に記入してください。

IV 出願書類

(1) 出願書類点検票（所定の用紙）

(2) 受験願書・写真票・受験票（所定の用紙）

出願前3か月以内に撮影した縦4.5cm×横3.6cmの無帽、正面上半身の写真を貼ること。

(3) 「振替払込受付証明書（お客さま用）」提出用紙（所定の用紙）

受験手数料25,000円をATMではなく必ず郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で払い込み、**受付局日附印が押された「振替払込受付証明書（お客さま用）」**を提出用紙に貼ること。

（注）「振替払込受付証明書（お客さま用）」は払込取扱票の最も右側の票です。ATMの明細は不可。

(4) 戸籍抄本（個人事項証明書）又は住民票の写し

発行後6か月以内のもの。本籍の記載は省略せず、マイナンバーの記載は省略すること。

（注）各種証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合や、住民票に本籍の記載のない場合には、戸籍抄本を提出してください。なお、「住民票の写し」とはコピーではありません。

(5) 受験資格を満たす学校の卒業（又は修了）証明書

出身高等学校、大学、短期大学等の卒業証明書（写しは不可）

高等学校卒業程度認定試験合格者は合格証明書（写しは不可）

大学等に在学中の場合は、在学証明書を提出すれば、高等学校の卒業証明書の提出は不要です。

（注）(a) 卒業証書・修了証・学位記の原本や写しは不可。

(b) 卒業しても受験資格を満たさない学校（専修学校（一般課程や高等課程の一部）、各種学校、学校教育法以外の法律に特別の規定があるもの（各種大学校など））の卒業証明書は除きます。この場合、高等学校、大学又は短期大学等の卒業証明書等を添付してください。ただし、受験願書の学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を全て記入してください。

(c) 平成29年度又は30年度小学校教員資格認定試験を受験した場合、受験票の写し又は試験結果通知書の写しの提出により、書類の提出が省略できます。

(6) 受験票送付用封筒（所定の封筒）

住所・氏名等を明記し、362円分の切手を貼付

(7) 試験結果通知用封筒（所定の封筒）

住所・氏名等を明記

(8) 試験科目等一部免除事由に該当することの証明書類

「2. 試験の実施方法」の「IV 試験科目等の一部免除」に示された証明書類

（注） その他試験運営大学が別途書類の提出を求める場合があります。

V 障害等による受験上の配慮の希望について

障害等のため受験上の配慮を希望する場合は、2019年5月24日（金）（出願期間初日）までに受験を希望する試験運営大学（出願書類提出先）まで申し出てください。申請に必要な書類の提出について御案内します。

出願の際、「受験願書」の所定の欄に配慮を希望する旨を記入するとともに、必要書類を提出してください。希望内容及び提出書類を審査の上、個々の症状や状態等に応じ配慮事項を決定し通知します。

後日、連絡を取ることがありますので、出願の際、必ず「受験願書」の「連絡先」（平日昼間に連絡が取れる連絡先）を記入してください。

VI 個人情報の取扱いについて

出願時に提出する関係書類に記載された個人情報については、「行政機関の保有する情報の保護に関する法律」、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び試験運営大学において、それぞれ定めている個人情報の保護に関する規程等に基づいて取り扱います。

- (1) 試験運営大学は、出願に当たって知り得た個人情報を本試験の実施及びこれに付随する事項を行うために利用します。
- (2) 試験運営大学は、上記の業務を遂行するために、知り得た個人情報の全部又は一部を、文部科学省、独立行政法人教職員支援機構及び試験実施に係るその他の大学に対して提供することがあります。
- (3) 試験運営大学は、上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を業者に委託して行うことがあります（以下、当該業者を「受託業者」という。）。
については、業務を遂行するために必要となる範囲で、受託業者に対して、知り得た個人情報の一部を提供することがあります。
- (4) 独立行政法人教職員支援機構は、教員免許状発行業務のために、各都道府県教育委員会に対して、合格者の個人情報の一部を提供します。
- (5) 試験運営大学及び独立行政法人教職員支援機構は、出願者本人の同意を得ることなく当該出願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

4. 出願後の注意事項

I 受験票の交付

- (1) 試験運営大学が受験願書を受理した場合は、出願者に受験票等を交付します。受験票等は、8月中旬頃までに発送します。8月16日（金）の時点で到着しない場合は、願書を提出した試験運営大学へ連絡してください。
 - (2) 受験票等には受験番号、試験場、免除される試験科目など必要な事項が記載されています。
 - (3) 受験票は、受験の際携帯し毎時間これを提示しなければ受験できません。
- (注) 受験票は、成績開示請求をする場合に必要となります。紛失しないように保管してください。

II 出願後の変更等について

- (1) 受験願書を提出した後、氏名、本籍地又は住所を変更した場合は、その変更の記載された戸籍抄本又は住民票の写しを出願先の試験運営大学に提出してください。
- (2) 受験願書を受理した後は、受験する試験運営大学並びに試験科目及び教科の変更は認めません。
- (3) 出願しなかった場合、出願が受理されなかった場合、及び誤って受験手数料を二重に払い込んだ場合を除き、受理した提出書類及び受験手数料は、いかなる場合も返還しません。

III 災害等による試験の中止等について

災害など不測の事態により、直前に試験の実施を中止する場合があります。災害による試験の中止等、試験に関する直前の情報は、独立行政法人教職員支援機構ツイッターでお知らせします。
独立行政法人教職員支援機構ツイッター：<https://twitter.com/NITS298>

また、本試験は、災害等による中止の場合も含め、いかなる場合も再試験は行いません。

IV 受験手数料の返還について

受験手数料を払い込んで出願しなかった場合、出願が受理されなかった場合、及び誤って受験手数料を二重に払い込んだ場合のみ、本人の請求により、事務手数料等3,000円を差し引いた22,000円を返還します。

返還を請求する場合は、原則として2019年12月末までに、以下①～⑤の内容を明記した受験手数料返還請求書（様式は問いません）に、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付し、郵送してください。

- ①氏名（フリガナ） ②現住所 ③電話番号 ④返還請求の理由
 - ⑤返還金の振り込みを希望する口座（本人名義の口座に限る。）
 - ・口座名義人（カタカナ） ・金融機関・支店名 ・口座種別（普通・当座） ・口座番号
- （送付先） 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター11階
独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター調査企画課免許企画室

5. 免許状の授与申請等

- (1) 認定試験の合格者は、文部科学省から合格証明書の交付を受けて都道府県教育委員会に申請すると、小学校教諭の二種免許状が授与されます。その手続については、都道府県教育委員会の教育職員免許事務担当課に照会してください。
- (2) この認定試験は資格試験であり、教員の採用選考試験ではありません。教員として採用を希望するときは、公立学校の場合にあっては都道府県又は指定都市教育委員会の教職員人事担当課に、国立及び私立学校の場合にあってはその学校を設置する法人に、それぞれ照会してください。
- (3) 平成 21 年 3 月 31 日以前に授与された他の学校種等の教員免許状（10 年間の有効期間が付されていない旧免許状）を所持する者は、免許状更新講習を受講・修了せずに生年月日等によって割り振られた修了確認期限を経過している場合には、本試験に合格し小学校教諭二種免許状を取得した場合であっても、免許状更新講習を受講・修了しなければ教員になることはできません。
教員免許更新制ホームページ：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

6. お問い合わせ先

I よくある質問

御不明点は、認定試験ホームページの「教員資格認定試験に関するよくある質問」を御覧ください。
認定試験ホームページ：<https://www.nits.go.jp/menkyo/shiken/>

II 独立行政法人教職員支援機構の担当部署

独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター調査企画課免許企画室
E-mail shiken@ml.nits.go.jp 電話（ダイヤルイン）03(4212)8455, 03(4212)8456

III 試験運営大学の担当部署及び所在地（出願書類提出先）

出願に関する御不明な点は、下記の試験運営大学の担当部署へお問い合わせください。

試験運営大学	担当部署	所在地	問合せ先
東京学芸大学	学務部教育企画課 資格認定試験係	〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1	042(329)7193
横浜国立大学	教育学系入試係	〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 常盤台 79-2	045(339)3261
静岡大学	教育学部学務係	〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836	054(238)4579
岡山大学	教育学系教務学生係	〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 3-1-1	086(251)7602
熊本大学	教育学部事務課	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-40-1	096(342)2521

7. 試験場交通案内

東京学芸大学

- (1) J R 中央線，新宿駅から八王子・高尾方面に約 30 分「武蔵小金井駅」下車（北口）
 - ①京王電鉄バス「小平団地」行き，約 10 分「学芸大正門」下車
 - ②武蔵小金井駅（北口）から徒歩約 25 分
- (2) J R 中央線，国分寺駅（北口）から徒歩約 20 分

横浜国立大学

- (1)横浜市営地下鉄線「横浜駅」乗車，約 6 分「三ツ沢上町駅」下車，徒歩約 20 分
- (2)相模鉄道線「横浜駅」乗車，約 10 分「和田町駅」（各駅停車のみ）下車，徒歩約 25 分
- (3)横浜駅西口からバスの場合
 - ①10 番乗り場（相鉄バス，交通裁判所循環）：「岡沢町」下車，徒歩 10 分
 - ②11 番乗り場（横浜市営バス循環外回り）：「横浜新道」又は「岡沢町」下車，徒歩 10 分

注 1：バスの利用はしばしば交通渋滞のため大幅に遅れることがあるので，できる限り鉄道を利用してください。

注 2：バスの時刻表など詳細については，横浜市交通局・相鉄のホームページ等により各自で確認してください。

宮城教育大学（第 1 次試験のみ実施）

<地下鉄 東西線>

「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車，「青葉山」駅下車

（乗車時間 9 分，料金 250 円）

「青葉山」駅「北 1 出口」から大学正門まで徒歩約 7 分

静岡大学

J R 静岡駅北口 バスターミナル⑧番 B 乗り場から，しずてつジャストラインバス，美和大谷（みわおおや）線

- (1)「静岡大学」行きのバスで「静岡大学」または「静大片山」下車
 - (2)「静岡大学経由 東大谷」行きのバスで「静岡大学」または「静大片山」下車
 - (3)「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きのバスで「静岡大学」または「静大片山」下車
 - (4)「東大谷」行きのバスで「片山」下車
- （バス乗車所要時間は約 30 分，日中は 1 時間に 5～7 本程度運行）

注：J R 東静岡駅発のバスは，大学休校日は運休になりますのでご利用になれません。

岡山大学

- (1) J R 岡山駅運動公園口（西口）から「4 7」系統の岡電バスで「岡大西門」下車，徒歩約 5 分
- (2) J R 岡山駅後楽園口（東口）から「1 7」「6 7」系統のいずれかの岡電バスで「岡大東門」下車，徒歩約 2 分
- (3) J R 岡山駅後楽園口（東口）から「1 6」「2 6」「3 6」「8 6」系統のいずれかの岡電バスで「岡山大学筋」下車，徒歩約 15 分
- (4) J R 津山線「法界院駅」下車，徒歩約 10 分
（所要時間については交通渋滞など，当日の交通事情によって変わってきます。
時刻表など詳細については，各公共交通機関でご確認ください。）

熊本大学

- (1) J R 熊本駅から
 - ①都市バス：第 1 環状線〔駅 2〕（大学病院・大江渡鹿経由）に乗車，「子飼橋」下車，徒歩 10 分
 - ②産交バス：楠団地，光の森産交行き等（熊本大学経由）に乗車，「熊本大学前」下車
- (2)交通センターから
 - ①産交バス：楠団地，光の森産交行き等（熊本大学経由）に乗車，「熊本大学前」下車
 - ②電鉄バス：楠団地行き等（子飼橋経由）に乗車，「熊本大学前」下車
- (3) J R 上熊本駅から
都市バス：第 1 環状線〔駅 1〕（子飼橋経由）に乗車，「子飼橋」下車，徒歩 10 分
- (4) J R 竜田口駅（豊肥本線）から
産交バス・電鉄バス：交通センター行きに乗車，「熊本大学前」下車